

提出日：平成 20年12月28日

Communication and China-Fudan Forum: Media and Social Space 参加報告書

韓 放（東北大学大学院情報科学研究科 博士後期課程 1年）

調査・場所
Communication and China-Fudan Forum: Media and Social Space 中国上海市邯郸路 220 号 復旦大学 中国上海市闵行区东川路 800 号 上海交通大学
日程
2008 年 12 月 8 日～2008 年 12 月 13 日
参加者
関本英太郎(教授)・韓放・陳怡如(情報科学研究科博士前期課程 1 年)
目的
上海復旦大学で行われたメディアと社会空間(公共空間、交通など)に関する“2008 復旦フォーラム”において研究発表を行うため。また上海交通大学で講義を行うため。
内容および成果
<p>2008 年 12 月 9 日、上海交通大学媒体設計学院(メディアとデザイン学科/School of Media & Design)で、関本英太郎教授が日本のメディアやメディア・リテラシーの現状について講義を行った。さらに、本研究科博士課程の韓放と陳怡如も日本の市民メディアについて研究発表を行い、媒体設計学院の研究者や学生と日本と中国の市民メディアについて議論や交流を行った。中国でもインターネット使用者が増えつつあるが、市民メディアの実践はいまだ展開されていない。メディアを利用して発信することについて、日本の市民メディア実践のよい参考となった。その後、上海交通大学媒体設計学院の陳先元教授と共に共同プロジェクトについて具体的に話し合い、2009 年、日中メディア・リテラシーの共同研究会を開くことについて検討を行った。</p> <p>2008 年 12 月 10 日から 12 日まで、上海復旦大学新聞学院(Journalism School of Fudan University)で開催された Communication and China - Fudan Forum:Media and Social Space に参加した。そして、12 月 11 日、関本英太郎教授、韓放と陳怡如は「日本における市民メディア実践とパブリックアクセスの可能性」(Citizen media practices and the possibility of construction of public access in Japan)のテーマでパネル発表を行った。中国では市民メディアという概念がまだ新しいものであるが、出席した研究者と共に市民メディアに対するそれぞれの見解を議論し、市民メディアに関する実践の経験について交流を行った。そして今後、中国のNPOの協力で製作された市民ビデオ作品を交流する予定である。</p> <p>さらに中国の最先端のメディア研究者と共にメディア政策、メディア研究、メディア・リテラシーの展開などについて学術交流などを発展させることが期待されている。</p>